

無料版

6月号



毎月1日発行
第26号 定価 540円 (本体500円・送料別途)
本社 〒169-0075
東京都新宿区高田馬場3-23-3 ORビル6階
☎03(3371)9340 FAX 03(3371)9596 www.u-car.co.jp
購読・広告のお申し込みは
☎03-3371-9340
発行所 (株)ユーストカー (株)ユーストカードットコム

最強買取店の実商談 334面
50代仲良し夫婦は
こう落とした!!



小売価格の
あの車はHowマッチ



日本からの中古車輸出は、相変わらず好調だ。今年3月までの累計でも、29万5174台を数え、前年を6.1%上回っている。そんななか、今年1月に上位2カ国であるミャンマーとスリランカが新たな輸入規制を施行。その影響で、輸出向け車種のオークション相場も様変わりした。そこで本紙6月号では、両国の売れ筋車の小売価格を調査。現地であの車が一体いくらで売られているのか、最新の情報を公開する。
昨年の中古車輸出台数は、ミャンマー向けが前年比19%増の16万437台となり、初めて1位になった。
ミャンマーでは、これまで中古車には高い関税がかけていたために、マイカーの保有はごくわずかに限られていたものの、2011年の民政化を機に、政府が中古車輸入の規制を大幅に緩和。2011年9月には、40年以上使用された車を廃車にすると、新しい年式の中古車を取得できることになった。
ミャンマー政府が輸入規制を緩和したことの背景には、国内で走っている車のほとんどが極低年式で、燃費の悪さ、安全性の問題、排ガスによる環境汚染の問題を抱えており、こうしたことを抜本的に解決することもあった。
これによって、国内の乗用車の登録台数は2005年の10万台から今年1月には、50万台と、10年間で5倍に増加した。その一方で、とくに車の集中するヤンゴンでは交通渋滞が慢性化。駐車場の問題も表面化している。
増え続ける車のほとんどは品質の高い日本からの中古車で、当時、日本のオークションでは、許可書が発行されるといふ新制度がスタート。その後、対象車が30年から20年へと緩和され、個人でも中古車の輸入が可能となった。
ミャンマー政府が輸入規制を緩和したことの背景には、国内で走っている車のほとんどが極低年式で、燃費の悪さ、安全性の問題、排ガスによる環境汚染の問題を抱えており、こうしたことを抜本的に解決することもあった。

《2面へつづく》
増え続ける車のほとんどは品質の高い日本からの中古車で、当時、日本のオークションでは、

魔法のオイル続報! 9面
高級オイルと対決!!

AUCNET 30周年記念オークション
6/13(土) YANASE 隔週 土曜日合同開催スタート
全国のヤナセディーラー様から下取り車や厳選されたユーストカーが出品!!
開催スケジュール 6/13・27 7/11・25 8/8・29
6/15(月) 30周年記念オークション FRESH! 1,000円/台
成約または落札1台以上で必ずもらえる!! 30周年記念ロゴ入り

